



図書館通信

最上校図書委員会 No.7 7月4日

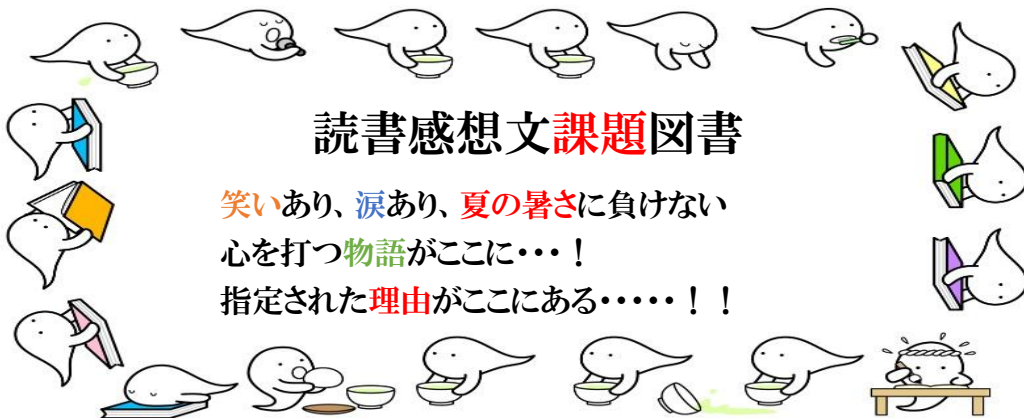
令和7年度 校内読書感想文コンクールを実施します

1. 応募対象 全校生徒
2. 対象図書 ①自由図書
②校外コンクール課題図書（課題図書は図書館にあります）
3. 字数・用紙
①400字詰め原稿用紙4枚以上、5枚以内（1600字以上2000字以内）
②本文は、用紙1枚目の1行目から書いていくこと
③応募票に、学年・出席番号・名前・読書感想文の題名・書名・著者名・出版社を書くこと
④原稿用紙・応募票は、学校指定のものを配布
4. 提出日 8月26日（火）クラス担任に提出
5. 審査 8月27日（水）～9月5日（金）第一次審査
9月9日（火）～9月12日（金）第二次審査
9月16日（火）最終審査
6. 表彰 入選作品を表彰し、「読書感想文集（生徒会誌）」に掲載する



読書感想文課題図書

笑いあり、涙あり、夏の暑さに負けない
心を打つ物語がここに…！
指定された理由がここにある……！！



第71回青少年読書感想文全国コンクール

7月図書館企画 課題図書特集

『銀河の図書室』 名取佐和子著

「ほんとうの幸い」って、何だろう？

瑞々しく、愛おしく、胸に響く傑作青春小説！

今を生きる高校生達の青春と、宮沢賢治の言葉が深く共鳴する感動作。



『夜の日記』 ヴィーラ・ヒラナンダニ著

イギリスからの独立とともに、ふたつに分かれてしまった祖国。ちがう宗教を信じる者たちが、互いを憎みあい、傷つけあっていく。少女とその家族は安全を求めて、長い旅に出た。自分の思いをことばにできない少女は亡き母にあてて、揺れる心を日記につづる。

『コードのぼくが見る世界』 五十嵐大著

ときに手話を母語とし、ときにヤングケアラーとみなされて、コードは、ろう者とも聴者（ちょうしゃ）とも違うアイデンティティをもち、複雑な心を抱えて揺れ動く。日々の通訳、聴こえない親とのコミュニケーション、母語としての手話、手話歌や「感動ポルノ」との付き合い方、マイノリティとして生きること。作家である著者が、幼少期の葛藤や自身のなかにある偏見と向き合いながら、コードの目を見た世界を綴る。



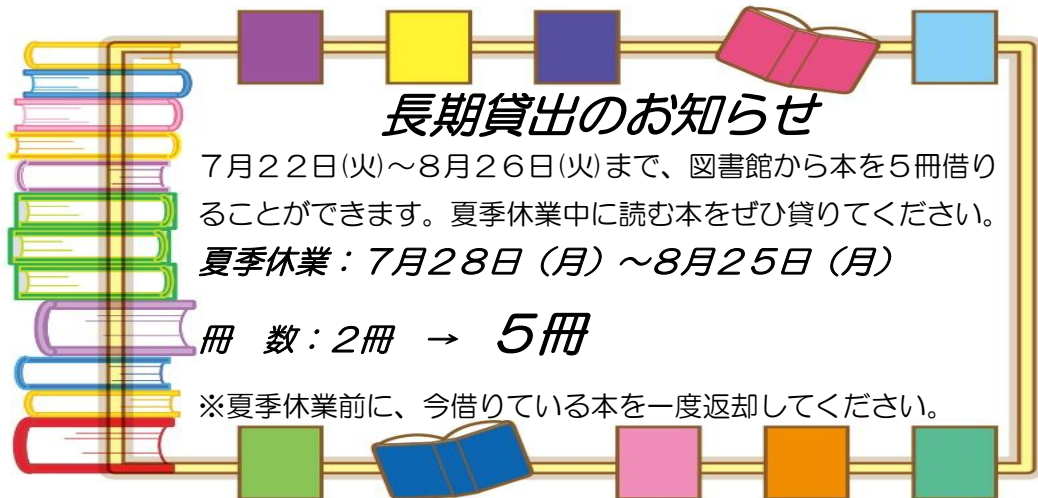
長期貸出のお知らせ

7月22日（火）～8月26日（火）まで、図書館から本を5冊借りることができます。夏季休業中に読む本をぜひ貸りてください。

夏季休業：7月28日（月）～8月25日（月）

冊数：2冊 → 5冊

※夏季休業前に、今借りている本を一度返却してください。



第58回 YBC 読書感想文コンクール

7月図書館企画 課題図書特集

ちょっと、早いけど、早めに選んでおこう！

『キミの一步 イタリア夢につながるうねうね道』佐藤まどか著
海外に在住の著者が自身の体験を元に、驚きや感動を児童に伝える等身大エッセイです。イタリアが舞台の本作では、美しい美術や文化、古い歴史を背景に、著者が子どもの成長を見守り子どもを通じて向きあった世界の多様性と、夢を持つ素晴らしさ、生きる力を親しみやすい語り口で伝えます。物語が苦手な子どもにも本の楽しさが伝わりやすいように、そんな願いで生み出された本です。

『これから大人になるアナタに伝えたい10のこと』

自分を愛し、困難を乗り越える力』サヘル・ローズ著

戦争に人生を翻弄され、養母とともに来日してから、貧困やいじめに苦しんだローズ。暗闇と孤独の中を生き抜いてきたローズが、悩みの中にいる子どもたちの孤独や痛みに寄り添い、「大丈夫」と元気づけ、自分らしく生きていくためのヒントを語ります。未来の大人に向けて、自分を愛し、他者と手を取り合って生きていくヒントが詰まった、サヘル流「人生指南書」。

『介護の花子さん』あさばみゆき著

かつて介護の仕事は、「3K（暗い・きつい・きたない）」などと呼ばれたが、今はまったく違う。そこは、「命」と「人生」に向き合うことのできる、最もドラマチックな仕事の最前線である。泣いて笑って感動して、仕事の素晴らしさに触れる、最高の物語。

『ミルキーウェイ 竹雀農業高校牛部』堀米薫著

「進学校にも行ける」という担任の声をよそに、竹雀農業高校へ入学した夢生。大学進学を目指せば、母さんに負担をかけると思ったからだ。牛に惹かれ、実習用の牛のお世話をする「牛部」へ入部する。日本の乳牛の99%を占めるというホルスタイン種。夢生の体の三、四倍はありそうな大きな牛たちとの生活が始まる。

7月図書館企画 第173回 芥川賞・直木賞 候補作決定！



7月16日、東京において、選考会が開かれます。

どの作品が選出されるか、予想してみましょう。

芥川賞候補作 4作品

グレゴリー・ケズナジャット『トラジェクトリー』※7月17日発売

駒田隼也 『鳥の夢の場合』※7月16日発売

日比野コレコ 『たえない光の足し算』※7月17日発売

向坂くじら 『踊れ、愛より痛いほうへ』

幼い頃から納得できないことがあると「割れる」アンノは、愛に疑念を抱いていて？



直木賞候補作 6作品

逢坂冬馬 『ブレイクショットの軌跡』

移り変わっていく所有者たちの多様性と不可解さのドラマ。

青柳碧人 『乱歩と千畝 RAMPOとSEMPO』

探偵作家と外交官。若き二人が友となり斬新な発想で描く波瀾万丈の物語。泣ける傑作。

芦沢央 『嘘と隣人』

ストーカー化した元パートナー、マタハラと痴漢冤罪、技能実習制度と人種差別、SNSでの誹謗中傷・脅し？

塩田武士 『踊りつかれて』

ブログに突如書き込まれた【宣戦布告】。SNSで誹謗中傷をくり返す人々の名前や年齢、住所、職場、学校、あらゆる個人情報晒された。彼らを追いつめたもの、それは？

夏木志朋 『Nの逸脱』

何気なく開けてしまった隣人の扉、フツウの奥に隠されていたものは？追う者と追われる者が入れ替わり、善と悪が反転していく予測不可能な展開。隣の人たちが繰りひろげる3つの物語。

柚月裕子 『逃亡者は北へ向かう』

人生を変えるために青年は北を目指した。

著者が地元・東北を舞台に描く震災クライムサスペンス。

